

1. テーマ：社会資本整備の教育について考える
2. 目的：近年、建設系の学科に進む生徒・学生が急激に減少している。建設産業に関わる様々な問題が発生し、国民の信頼の失墜が背後にあることは事実である。しかしながら、現在の若者は先進国としてのインフラが整った社会に生まれ育った世代である。彼等にとって道路、鉄道、水道、電気等生活を支えるインフラは“空気”に等しいものとなっている。本フォーラムでは、社会基盤整備に関する人材育成と教育をどのように行ってゆくべきかを、小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、国土交通省、そしてメディアの方々にディスカッションして頂く。
3. 日時 2008 年 5 月 17 日（土） 13：10～14：50
4. 場所 高知工科大学
5. モデレーター：  
高知工科大学 工学部 社会システム工学科 教授 草柳俊二
6. パネラー
  - 1) 高知県教育センター 教職研修部指導主事 照屋文彦
  - 2) 高知工業高等学校 校長 平田健一
  - 3) 高知工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 勇 秀憲
  - 4) 香川大学 工学部 安全システム建設工学科 教授 松島 学
  - 5) 国土交通省四国地方整備局企画部長 菊池良介
  - 6) 高知新聞香長総局 局長 高橋 誠
7. ディスカッション
  - ・ 高等学校、高専、大学における建設系を望む生徒・学生数の変化についての、教育の先端にいる人々から報告。
  - ・ 小学校と中学校での社会基盤整備に関する教育実態を聞く。
  - ・ 社会基盤整備に関する一般国民の認識についてメディアの捉え方を聞く。
  - ・ 社会基盤整備に関する国民の理解を得るための活動について、国土交通省の取り組みの方、活動方針を聞く。
  - ・ 高知県建設系協議会のメンバーに、協議会の活動について聞く
  - ・ フリーディスカッション
  - ・ 会場からの意見
8. その他
  - ・ このフォーラムで話された内容は土木学会誌に掲載予定。